

Dynavector DV-20X2 H/L 取扱説明書

このたびは、ダイナベクター MC カートリッジ DV-20X2 をお買い上げいただき誠に有難うございました。ご使用前に本説明書をお読みいただき、最適な条件で未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

■特長

1. DV 20X2-H/20X2-L

DV-20X はデビュー以来、幅広いオーディオファンに支持されてきましたが、この度新しい 20X2 としてバージョンアップしました。

20X2 では、従来からの無垢アルミニウム削出しボディ、硬質アルミニウムカンチレバーにマイクロリッジ・スタイラスチップを装着、磁気回路の支持部を、XX2MKII と同様、高剛性磁気回路構造を採用しました。

これによりネオジウム磁石とフラックスダンパー&ソフト化マグネットとの親密性がより高まり、そのトータルパフォーマンスは一段と安定感と力強さを増しています。

20X2 では高出カタイプ MC カートリッジ 20X2-H と低出力タイプの 20X2-L の 2 モデルがありお持ちのシステムに合わせて選択できます。

2. 高出力 / 低出力タイプ

高出力タイプはダイナベクターが開発した独特の巻線技術により、わずか 15 ミクロン径の極細線を発電コイルに巻き 2.8 mV の出力電圧を得ております。この為 MM カートリッジと同様にヘッドアンプや昇圧トランスなしで使用できます。低出力タイプは 30 ミクロン PCOCC 線を採用し出力電圧は 0.3mV です。

3. フラックスダンパーとソフト化マグネット (特許取得)

磁気回路には強力なネオジウム・マグネットを採用していますが、ダイナベクター独自の磁束 (フラックス) 変動の干渉を消去するフラックスダンパーと、希土類磁石類の内部磁気抵抗を低減するソフト化マグネットの搭載により、その再生音は自然且つスムーズで、耳につく高域の「ウルササ」はありません。

4. 高剛性の無垢アルミニウムボディ

再生音に大きな影響を与えるボディについても十分な検討を加へ、ヘビータンデムなアルミニウム無垢削り出しボディを採用しています。

5. 硬質アルミニウムカンチレバー

6mm長の硬質アルミニウム・カンチレバーにマイクロリッジ・スタイラスチップを採用し、高い分解能と骨太な中低域再生が特長です。

■取扱方法

1. ヘッドシェルへの取り付け

カートリッジ本体を付属の M2.5 ネジで、トーンアームのヘッドシェルに取り付けます。取り付けは、カートリッジ針先が、使用されるトーンアーム指定のオーバーハング長になるよう正確に取り付けます。また正しい VTA とアジマスが得られるよう、トーンアームの高さと水平度を正確に調整してください。

2. 針圧

適正針圧は 1.8 ~ 2.2g で、室温 20°C が基準です。室内温度によりトレース性能が多少変化しますので、0g を基準に室温が高い場合はやや軽め、低い場合はやや重めの針圧でお使いください。

3. 出力電圧

20X2-H は出力電圧は 2.8mV で一般の MM 型カートリッジとほぼ同じですので、ヘッドアンプや昇圧トランスは不要です。MM 型カートリッジと同じ PHONO 入力端子に接続してください。20X-L は出力電圧は 0.3mV ですので、通常の MC カートリッジと同様ヘッドアンプや昇圧トランスが別途必要になります。

4. 針先のクリーニング

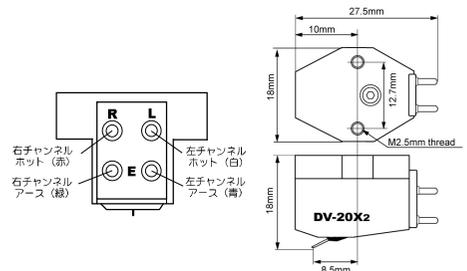
針先が汚れた場合には付属のブラシを用いて、カンチレバーの根本の方から針先へ向けて軽く払うようにクリーニングしてください。汚れが取れない場合にはブラシに少量の市販のノンアルコール系のクリーニング液を浸けクリーニングしてください。

5. 針交換

針先が磨耗した場合は、針交換価格という割引価格にて新品にお取替え致します。ご依頼はお買い上げいただいたお店にお問合せください。

6. 接続方法

付属のリード線を用いて、各端子をヘッドシェル端子にしっかりと接続してください。



■仕様

型式	: 高出力 / 低出力タイプ MC カートリッジ
	: フラックスダンパー、ソフト化マグネット
出力電圧	: 2.8mV/0.3mV (1kHz, 5cm/sec)
チャンネルセパレーション	: 25dB 以上 (1kHz)
チャンネルバランス	: 1.0dB 以下
周波数特性	: 20 ~ 20,000Hz (±2dB)
コンプライアンス	: 12 × 10 ⁻⁶ cm/dyn
針 圧	: 1.8 ~ 2.2g
推奨負荷抵抗	: 1K Ω / 30 Ω 以上
カンチレバー	: 硬質アルミニウムパイプ
スタイラス	: マイクロリッジ針
自重	: 9.2g

ダイナベクター株式会社

101-0031 東京都千代田区東神田 3-2-7
TEL 03-3861-4341 FAX 03-3862-1650
URL <http://www.dynavector.co.jp/>